

マルチコプター(UAV)による 空中撮影及び画像計測



「マルチコプター」とは？

マルチコプターはUAV（無人航空機）の一種で、近年民間での利用が促進されてきている航空機です。機体にはデジタルカメラやビデオカメラを搭載可能で、民間では空中写真撮影や、動画映像に利用されています。

マルチコプターはこれまでの空撮より低空での撮影が可能となることから、より精度の高い画像・映像取得が可能となり、地震や大雨などによる斜面崩壊時等の災害対応、また構造物や橋梁点検等での利用が見込まれております。

- **災害現場や人が入れない場所での撮影。**
- **構造物・橋梁点検での利用。**
- **撮影した画像を解析・3D化して利活用。**
- **文化遺産や名所等を空撮で記録保存。**

利 用 用 途

◆災害対応

災害による斜面崩壊や、被災箇所における被害実態調査(特に人が立ち入れない箇所)などを迅速に把握します。

◆構造物点検調査

橋梁・トンネル・港湾施設、またさまざまなインフラ施設での点検業務にマルチコプターの遠隔点検を利用できます。

◆土木現場での利用

工事進捗状況や、採石場の形状調査、道路陥没現況調査など経過履歴を定期的に撮影して管理支援をします。

◆遺跡・名所などの記録保存

遺跡調査、文化遺産や名所旧跡等の空撮により、経年変化の記録をデータベース化したり、補修計画に資する事が出来ます。

◆3Dデータ構築へ

撮影した画像データを幾何学補正し、標高データや地形データと組合せることにより3DCADデータを生成。概略設計や縦横断面図作成に利用することも可能です。

